

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E112L005		木材加工学 (製図及び実習を含む。)(Technology of Woodwork I)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 中原 久志  E-mail nakaharah@oita-u.ac.jp(中原) 内線 7590(中原)											
授業の概要	木材の性質と、その加工方法を具体的な実習を通して学ぶ。また、製作題材として、各加工法を用いた鍋敷きの製作を通して、工具使用の技能を身に付ける。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 木材及び木質材料の性質や特徴、加工方法を理解し、工具の適切な使用方法を身につける。																	
目標2																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 オリエンテーション																	
2 木材の分類と種類																	
3 木材の物理的性質																	
4 木材の機械的性質																	
5 木質材料の特徴と性質																	
6 材料取りの方法(けがき)																	
7 材料取りの方法(のこぎり)																	
8 部品加工の方法(切削:平かんな)																	
9 部品加工の方法(継手加工:のみ)																	
10 部品加工の方法(穴あけ加工:きり)																	
11 組立加工の方法(接着と接合)																	
12 仕上げの方法(塗装)																	
13 鍋敷きの製作(製図・けがき・のこぎりびき)																	
14 鍋敷きの製作(ほぞつぎの加工)																	
15 鍋敷きの製作(焼き処理)																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	実技, ディスカッション, 評価					工夫	その他の									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	各加工法を用いた製作品の構想・設計を行う(15h)															
	事後学修	課題レポートを作成する(30h)															
教科書	随時プリント資料を配付																
参考書	木材の性質と加工 開隆堂出版																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	製作品評価	50%															
	定期試験	50%															
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	中学校教員（中原）